



# 2026年3月期決算 および中期経営計画 (2026年度～2028年度)

2026年6月10日

## 兼房株式会社

---

ホームページ	URL <a href="https://www.kanefusa.co.jp">https://www.kanefusa.co.jp</a>
お問い合わせ先	経営管理室長 服部 政信
電話番号	0587-95-2821

---

## 目次

1	会社概要	3-9
2	特徴・強み	10-16
3	2026年3月期 決算概要	17-22
4	中期経営計画の振り返り(2023~25年度)	23-26
5	2035年のありたい姿について	27-30
6	中期経営計画(2026~28年度)	31-40
7	トピックス	41-43

# ① 会社概要

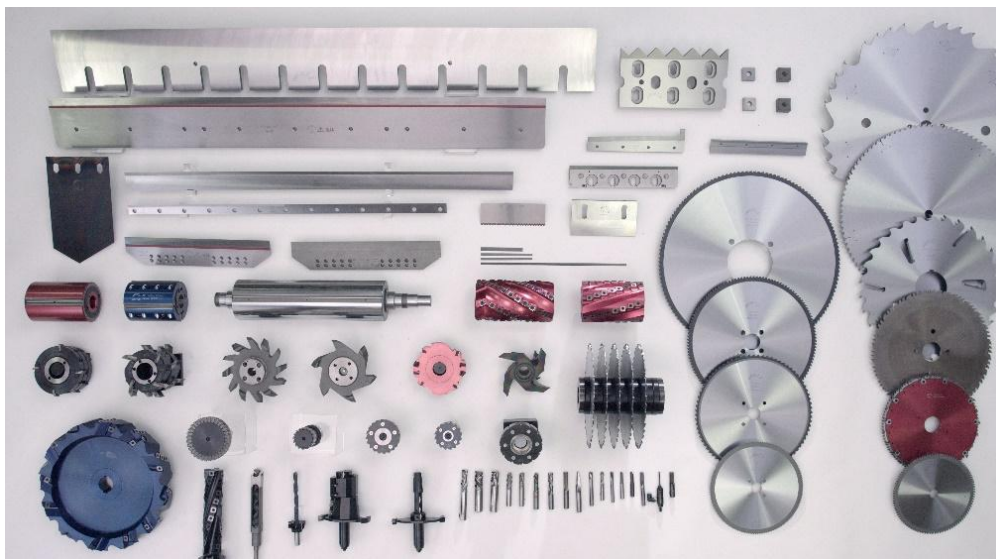
---

# 1 会社概要

## 兼房株式会社

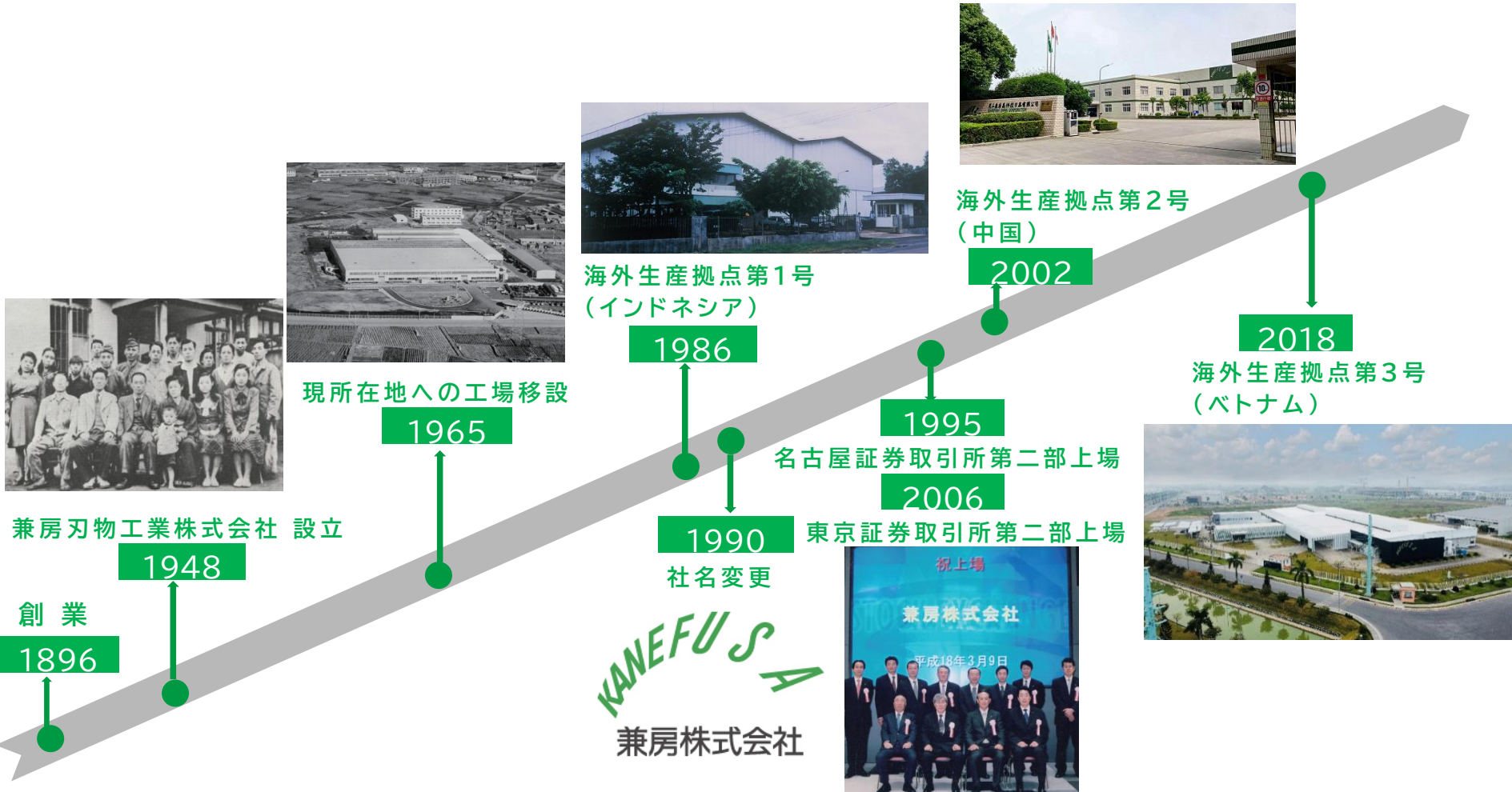
東証スタンダード市場 上場 5984  
名証メイン市場

工業用機械刃物  
総合メーカー



設立	1948年11月 《創業1896年(明治29年)》		
所在地	愛知県丹羽郡大口町		
資本金	21億4,250万円		
事業所	本社・工場 国内8販売拠点		
子会社	10社 うち海外子会社9社		
従業員数	正社員	単独 581名	連結子会社 554名
	パート	101名	133名
	合計	682名	687名

# 1 会社概要 - 兼房のあゆみ



# 1 会社概要－事業内容・主要ユーザー

## 事業内容

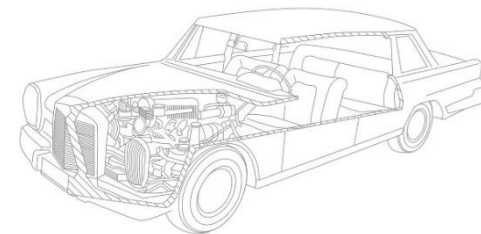
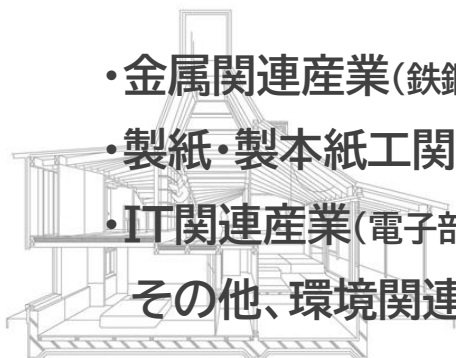
### 工業用機械刃物の製造・販売

工業用機械刃物は、木材・紙・金属等を切断・加工する機械に装着して使用される  
＜消耗工具＞に該当します。

## 主要ユーザー

- ・住宅関連産業(ハウス、合板、建材、プレカット、外壁材、  
電動工具、キッチン、家具等の各メーカー)
- ・金属関連産業(鉄鋼、非鉄、自動車・部品等の各メーカー)
- ・製紙・製本紙工関連産業(製紙等の各メーカー、印刷・製本会社)
- ・IT関連産業(電子部品等の各メーカー)

その他、環境関連、包装機械、合成樹脂加工会社など多業種にわたる。



# 1 会社概要—主要製品

## 平刃類

形状が平らになっているもので、合板用刃物、木材加工用刃物、製本紙工用刃物、IT関連刃物等があります。



住宅関連産業向け  
ベニヤナイフ



印刷・製本関連向け  
断裁包丁

## 精密刃具類

溝つき・繋ぎ合わせ・穴あけ加工・成型等をする工具で、カッター・エンドミルなどと呼ばれます。

被削材には木質系、窯業系建材、樹脂、非鉄金属等があります。



金属関連産業向け  
フェースミル



住宅関連産業向け  
仕口カッター

## 丸鋸類

円板状で外周部に刃がついており、切断・粉碎をする工具。被削材には木質系等を切断するチップソーや、各種金属を切断するコールドソーがあります。



金属関連産業向け  
コールドソー



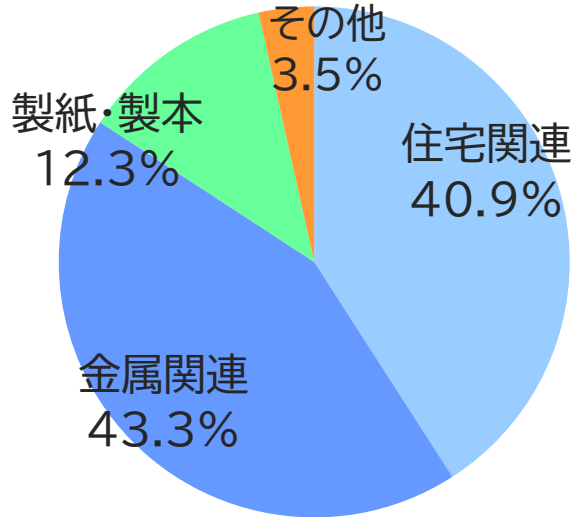
住宅関連産業向け  
チップソー

製品数 300種3万点

# ① 会社概要—売上高構成比

## 一つの業種、地域に偏らない売上高構成

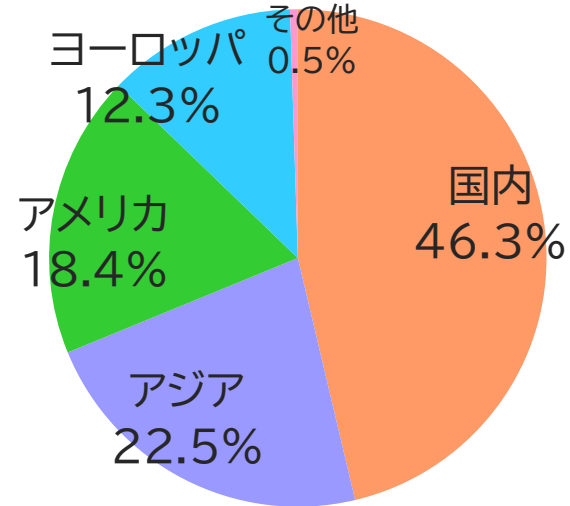
業種別



- ・その他  
化成品、IT、環境  
関連産業、  
包装機械メーカー等
- ・製紙・製本紙工関連  
製紙メーカー、  
印刷・製本産業

- ・住宅関連  
ハウス、建材、サッシ、  
キッチン、家具、合板、  
電動工具メーカー等
- ・金属関連  
鉄鋼、非鉄  
自動車関連産業等

地域別



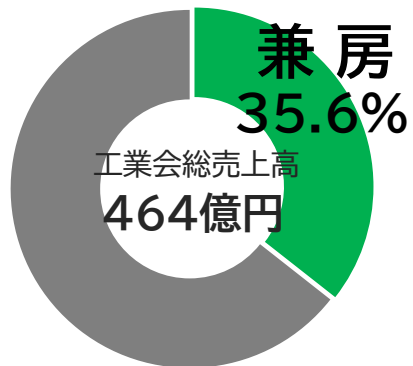
- ・ヨーロッパ  
ドイツ、フランス  
スウェーデン等
- ・アメリカ  
米国、カナダ、  
メキシコ、ブラジル、  
チリ等

- ・その他  
ニュージーランド、  
オーストラリア等
- ・アジア  
インドネシア、  
中国、ベトナム、  
インド、タイ等

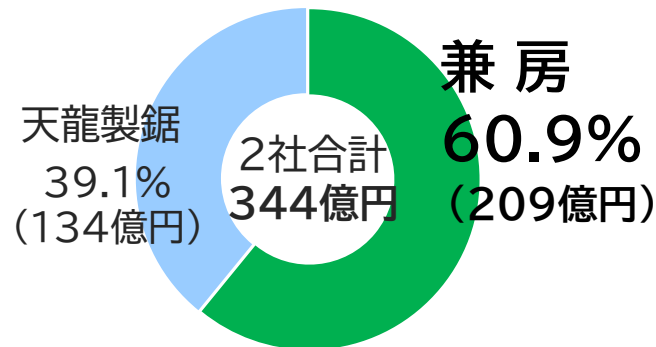
# 1 会社概要 – マーケット規模と当社シェア

## 国内シェアNo.1

日本機械鋸・刃物工業会21社  
単独売上高ベースでのシェア(2025年度)

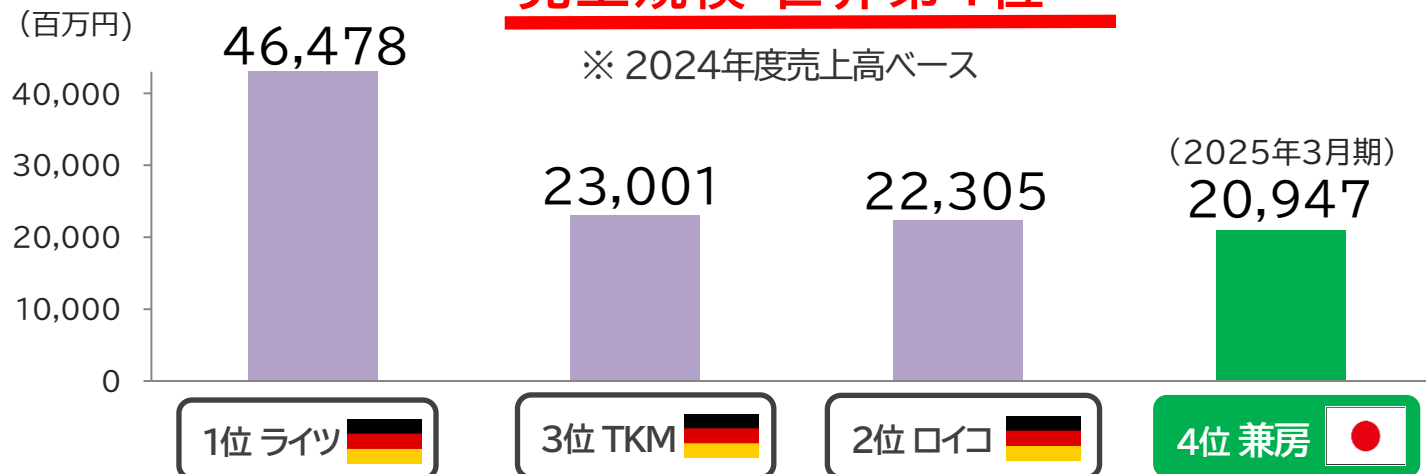


業界株式公開会社2社  
連結売上高ベースでのシェア(2025年度)



## 売上規模 世界第4位

※ 2024年度売上高ベース



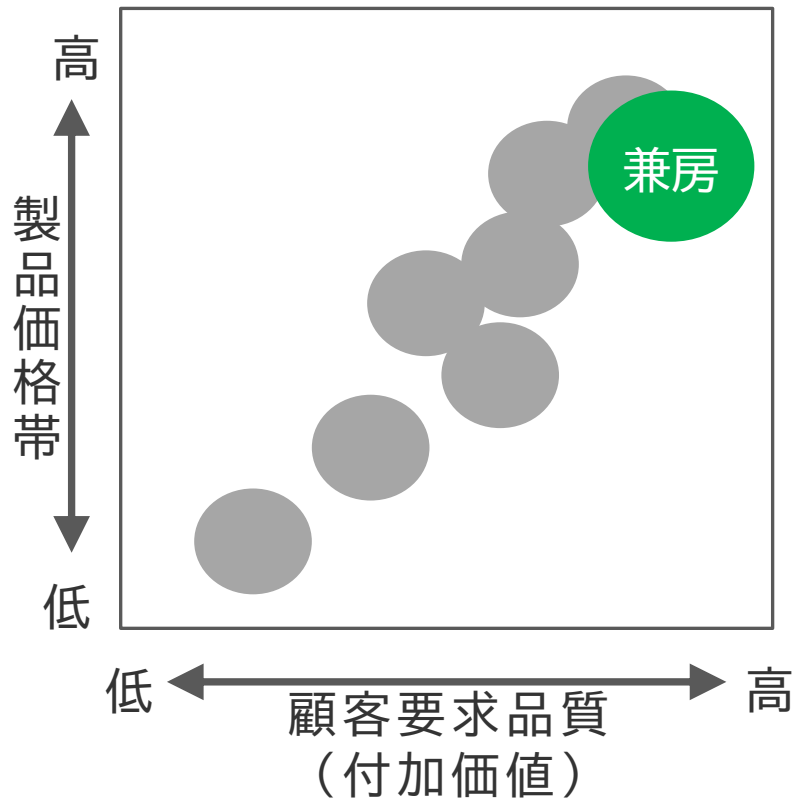
※ 2024年度レート 164.92円/€

## ② 特徴・強み

---

## ② 特徴・強み

高品質なモノづくりを追求される顧客層に  
高付加価値製品・サービスを提供



平刃・精密刃具・丸鋸のカテゴリーすべてを製造する  
**工業用機械刃物のプロ**  
幅広い市場の切削課題に総合力で対応



## 2 特徴・強み

### 世界生産拠点とグローバル販売網

### 世界8か国10の地域に進出



●世界生産4拠点

日本

インドネシア

中国

ベトナム



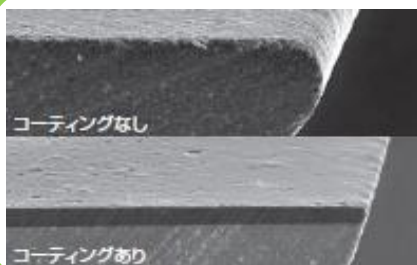
世界中への製品供給のための  
生産能力、販売ネットワーク  
 スケールメリットを活かしたコスト低減

## ② 特徴・強み

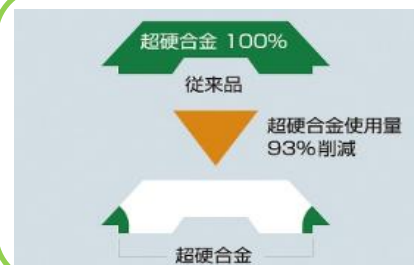
# 業界屈指の技術力

製品開発基本ポリシー “KANEFUSA For Sustainability”

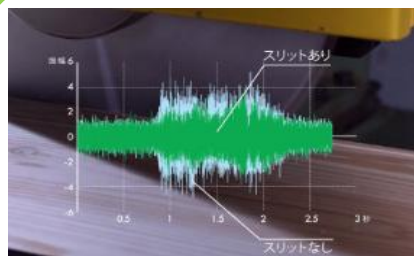
### 4つのコア技術



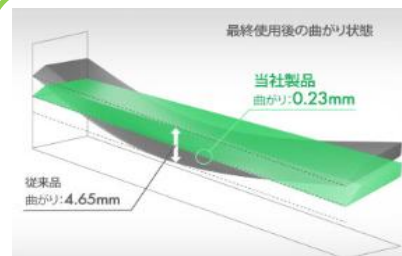
消費電力削減を可能にする **コーティング技術**



レアメタル使用量削減を可能にする **微小化技術**



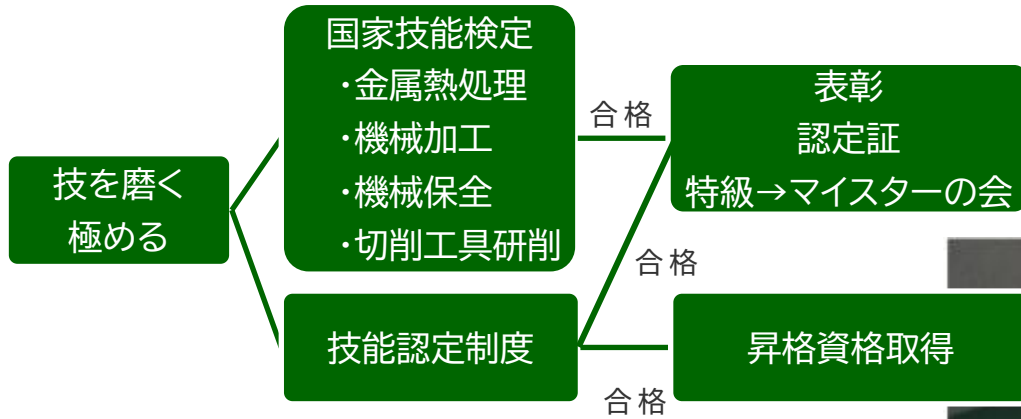
作業環境改善・歩留まり向上を可能にする **振動抑制技術**



省エネルギー・高耐久性を可能にする **刃金接合技術**

## ② 特徴・強み

### 業界屈指の技術力



国家技能検定合格者名を  
掲示した「匠ボード」



製造設備の自社設計・製作

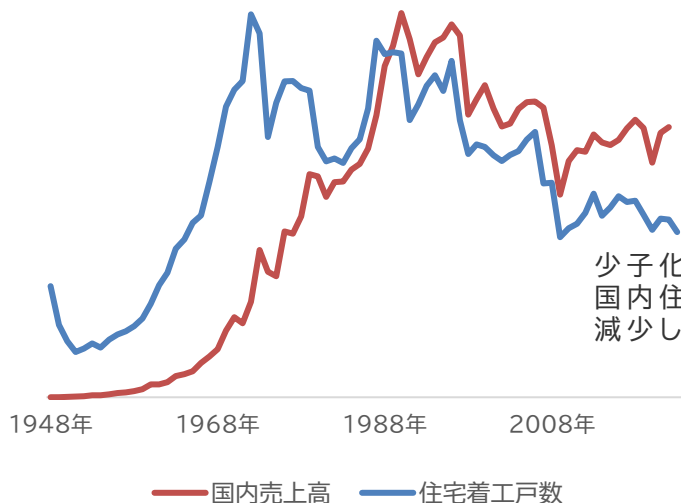


本社 工作工場の様子

## ② 特徴・強み

# 市場拡大が期待される 木材分野に強み

戦後の住宅需要の高まりの中、  
木材加工用刃物で成長  
⇒蓄積された知見、高いノウハウ



少子化等の影響で  
国内住宅着工戸数は  
減少しているが・・・

カーボンニュートラルやSDGs  
⇒世界的な  
木材関連市場拡大



豊富な木材加工用刃物を  
ラインナップ

国内シェア  
90%以上!

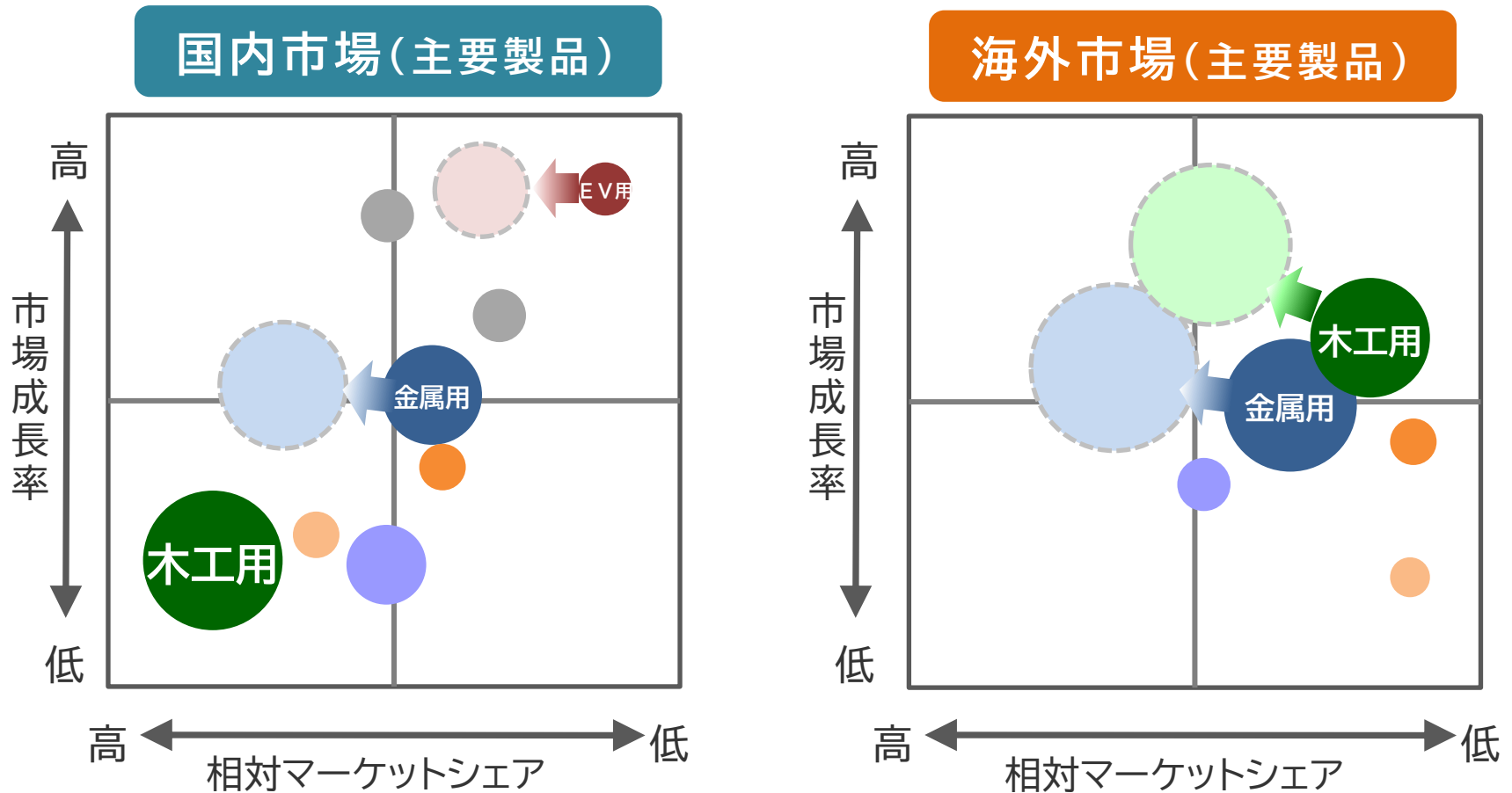
チップソー

ベニヤナイフ

プレカット鋸

フィンガーカッター

## ② 特徴・強み



国内: 高付加価値製品・技術サービスでシェア維持、後発製品群のシェアアップを図る

海外: 未開拓の市場がまだまだあり、未投入アイテムも多い。

豊富な製品群を活かし、シェア拡大・ブランド確立を図る。

## ③ 2026年3月期 決算概要

---

### 3 決算概要—損益計算書

単位:百万円

	25年3月期 実績	26年3月期 実績	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	20,231	20,947	715	3.5%
売上原価 (売上高比率)	14,280 (70.6%)	14,675 (70.1%)	395	2.8%
売上総利益 (売上高比率)	5,950 (29.4%)	6,271 (29.9%)	320	5.4%
販管費	5,203	5,180	[1] ▲22	▲0.4%
営業利益 (売上高比率)	747 (3.7%)	1,090 (5.2%)	343	45.9%
営業外収益	104	321	[2] 217	208.7%
営業外費用	144	67	▲76	▲53.1%
経常利益 (売上高比率)	707 (3.5%)	1,344 (6.4%)	637	90.1%
特別利益	957	144	[3] ▲813	▲84.9%
特別損失	12	23	10	80.1%
税金等調整前 当期純利益	1,652	1,465	▲186	▲11.3%
当期純利益 (売上高比率)	984 (4.9%)	1,031 (4.9%)	47	4.8%

海外市場を中心とした受注回復や、  
中国子会社の構造改革により

**前期比 増収増益**

<前期比増減額の主な内訳>

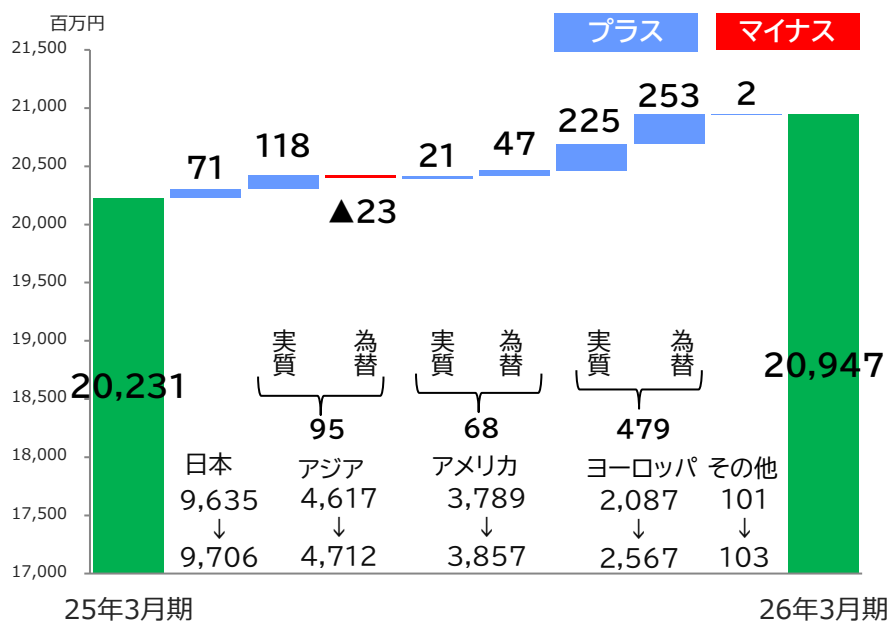
[1] 販管費  
所定内従業員給与 ▲41  
委託費 +26

[2] 営業外収益  
為替差益 +200

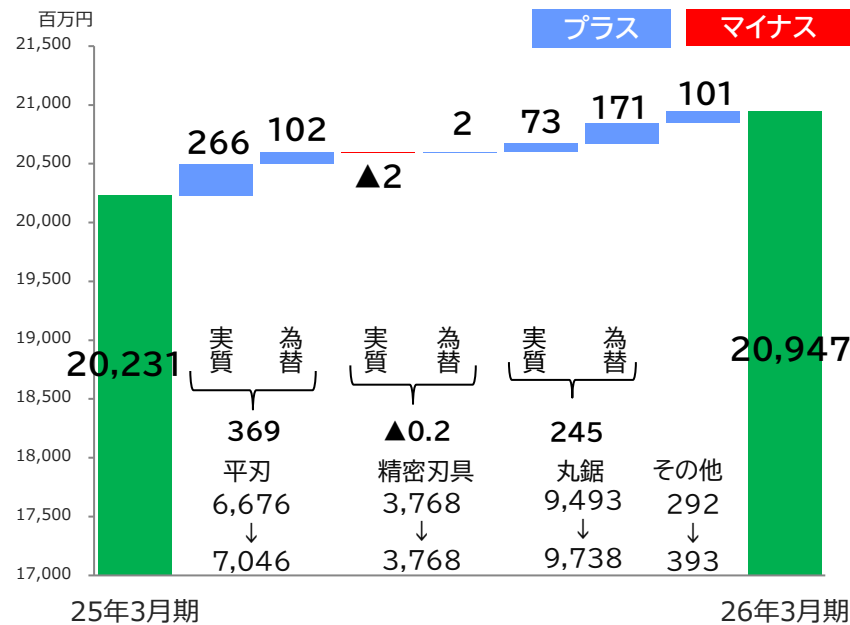
[3] 特別利益  
固定資産売却益 ▲878

### ③ 決算概要－売上高の増減要因(前期比)

地域別



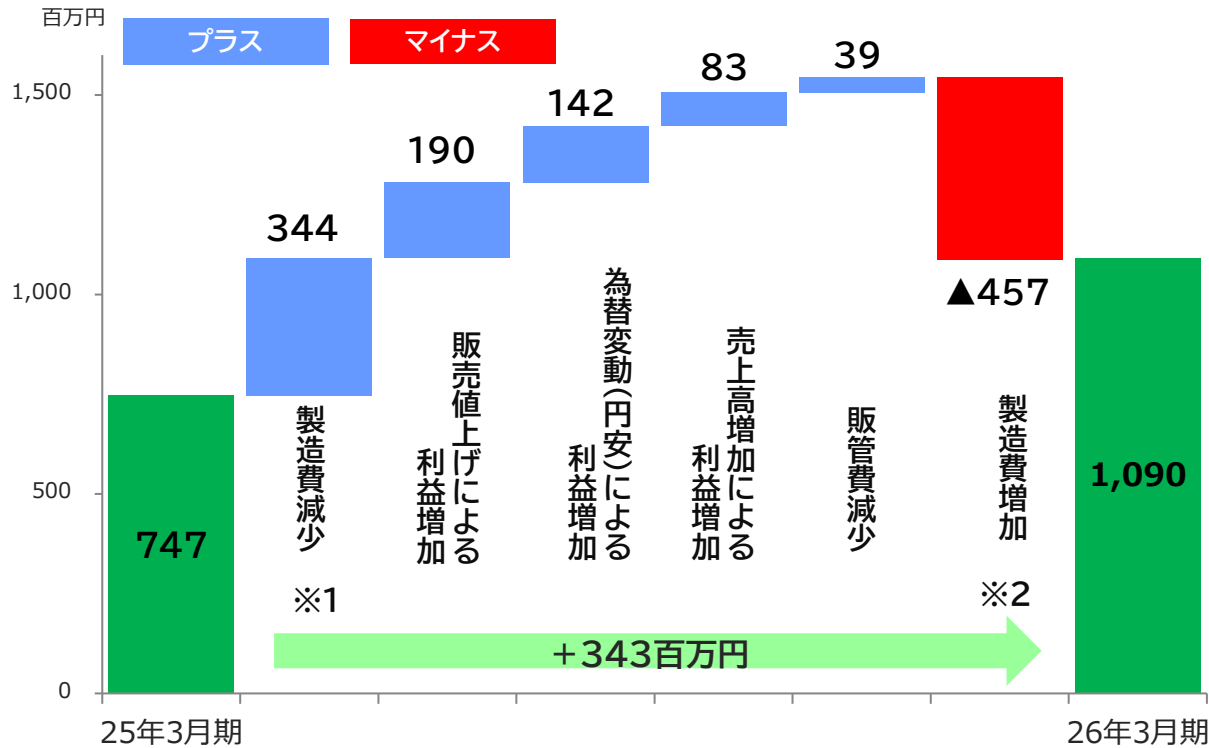
事業別



国内は住宅関連刃物は減少したものの、非住宅関連刃物の売上が増加し、ほぼ横ばい。海外は、ヨーロッパ、アジア、南北アメリカの主要地域の受注回復が進み、特にヨーロッパにおいては木工関連刃物が好調だったことに加え、ユーロに対し円安が進んだことなどから、連結売上高は前年同期比715百万円の増加となった。

[為替影響]  
海外子会社換算適用レート  
25年3月期 26年3月期  
158.18円/\$ ⇒ 156.56円/\$ (円高)  
164.92円/€ ⇒ 184.33円/€ (円安)  
21.67円/元 ⇒ 22.36円/元 (円安)

### ③ 決算概要－営業利益の増減要因(前期比)



[為替影響]  
 海外子会社換算適用レート  
 25年3月期      26年3月期  
 158.18円/\$ ⇒ 156.56円/\$ (円高)  
 164.92円/€ ⇒ 184.33円/€ (円安)  
 21.67円/元 ⇒ 22.36円/元 (円安)

※1 製造費減少 主な内容

国内 電力費 ▲9百万円      機械減価償却費 ▲109百万円  
 海外 中国子会社構造改革による製造費減少 ▲194百万円

※2 製造費増加 主な内容

国内 原材料費高騰 +110百万円 労務費 +59百万円 外注加工費 +39百万円  
 修繕費 +31百万円  
 海外 原材料費高騰 +28百万円 ベトナム工場原価+160百万円

### ③ 決算概要－貸借対照表

単位:百万円

単位:百万円

		25年3月期 実績	26年3月期 実績	増減額			25年3月期 実績	26年3月期 実績	増減額
資産の部	流動資産				負債・純資産の部	流動負債			
	現金及び預金	8,061	7,885	▲175		買掛金	1,407	1,140	▲267
	受取手形及び売掛金	3,783	3,934	151		未払金	1,085	784	▲300
	たな卸資産	7,788	8,240	[1] 451		その他	1,344	1,027	[4]▲316
	その他	600	573	▲26		小計	3,837	2,953	▲883
	小計	20,233	20,633	400		長期借入金	2,996	2,852	▲144
	有形固定資産	16,166	15,224	[2]▲942		退職給付に係る負債	159	188	29
	無形固定資産	974	927	▲47		その他	920	1,069	149
	投資その他の資産	1,094	1,618	[3] 523		小計	4,076	4,111	34
	小計	18,236	17,769	▲466		資本金	2,142	2,142	—
資産の部計	38,469	38,403	▲66	資本剰余金	2,167	2,167	—		
				利益剰余金他	22,494	23,179	684		
				評価・換算差額等	3,751	3,849	98		
				小計	30,556	31,339	783		
				負債・純資産の部計	38,469	38,403	▲66		

#### <増減額の主な内訳>

[1] たな卸資産	
商品及び製品	+461
仕掛品	+6
原材料及び貯蔵品	▲16
[2] 有形固定資産	
建物及び構築物	▲355
機械装置及び運搬具	+207
土地	▲1
建設仮勘定	▲738
[3] 投資その他資産	
退職給付に係る資産	+411
[4] 流動負債その他	
未払法人税等	▲332
賞与引当金	+57

### 3 決算概要ーキャッシュ・フロー、設備投資等

単位：百万円

	25年3月期 実績	26年3月期 実績
営業活動による キャッシュ・フロー	2,638	1,094
投資活動による キャッシュ・フロー	▲1,750	▲936
財務活動による キャッシュ・フロー	1,411	▲609
現金及び現金同等物 期末残高	8,061	7,885

単位：百万円

	24年3月期		25年3月期		26年3月期	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体
設備投資額	2,656	1,448	2,412	307	847	414
減価償却費	1,711	965	1,812	914	1,755	788
研究開発費	262	262	271	271	258	258

#### < 営業活動によるキャッシュ・フロー 主な内訳 >

	25年3月期	26年3月期
税金等調整前当期純利益	1,652	1,465
減価償却費	1,812	1,755
為替差損益	76	▲265
棚卸資産の増減額	325	▲364
法人税等の支払額	▲389	▲735

#### < 投資活動によるキャッシュ・フロー 主な内訳 >

	25年3月期	26年3月期
有形固定資産取得支出	▲2,718	▲1,066
有形固定資産売却収入	999	85
事業譲渡による収入	—	65

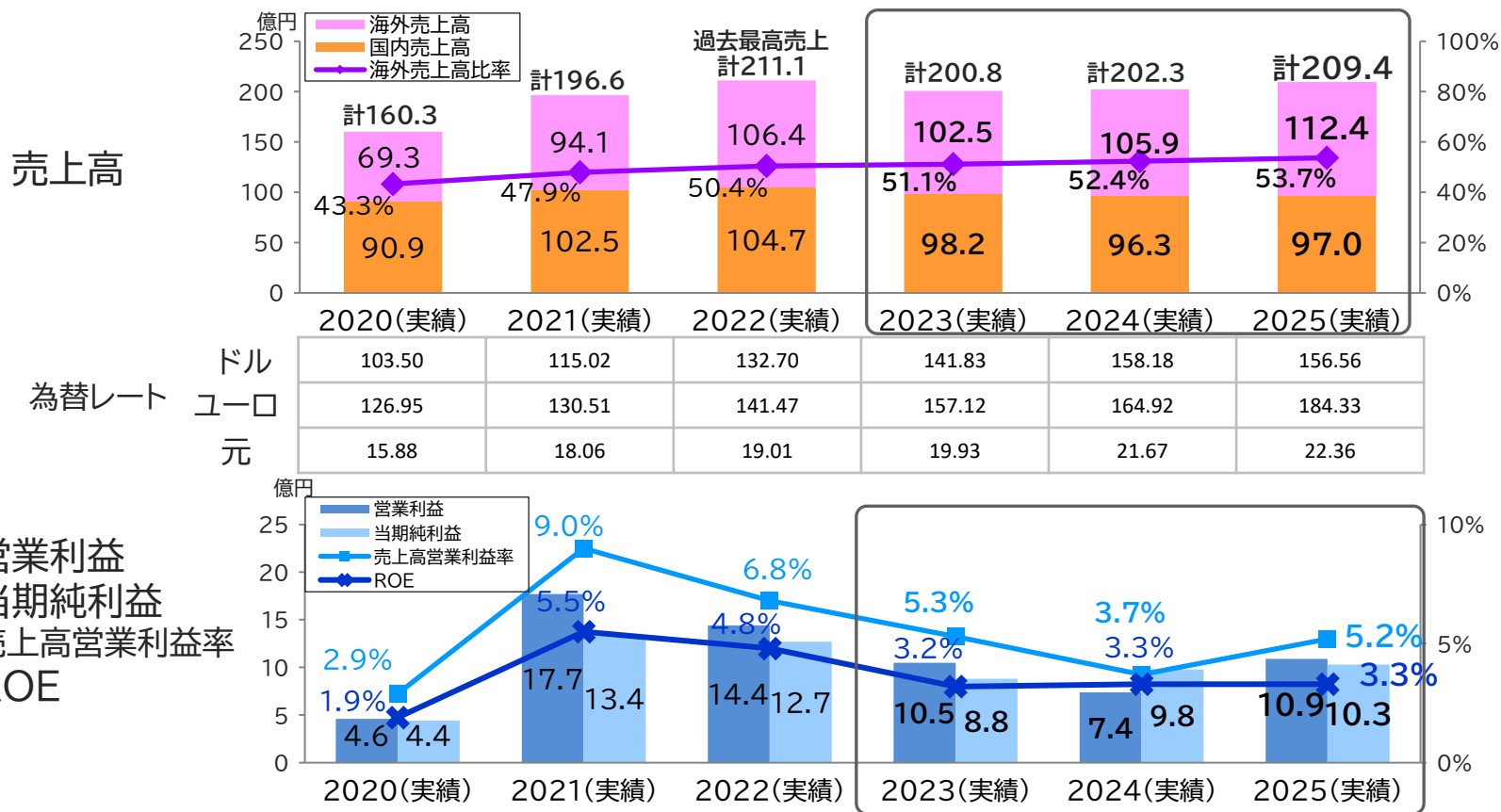
#### < 財務活動によるキャッシュ・フロー 主な内訳 >

	25年3月期	26年3月期
長期借入収入	2,000	—

## ④ 中期経営計画(2023~25年度)の振り返り

---

# 4 前中期経営計画の振り返り



・3年間の売上高は、国内は低位横ばい。海外は米国が堅調だったほか、新興国のインド・ブラジルが好調に推移した。一方、中国経済の低迷、それに伴い東南アジアも低調、さらに欧州市場も低調に推移した。全体では、円安の追い風もあり、増収傾向となったが、2022年度実績は越えられず。

・利益については、グループ全社を挙げての生産性の向上、DXや不採算製品削減による効率化、2024年度には中国子会社の構造改革などに取り組んだものの、世界的なインフレによる人件費および原材料価格等のコスト上昇により営業利益率は低位で推移した。

## 4 前中期経営計画の振り返り

### 主な成果 ①

#### テーマ

グローバル市場におけるプレゼンス強化



モノづくり力とDX強化



#### 主な実績

- 海外主要展示会への継続出展（LIGNA、EMO、AMB、IMTSなど）
- 高度外国人材4名採用
- 社内制度のグローバルテクニカルエンジニア：GTE（海外派遣技術者要員）の増員
- ベトナムの製造子会社44名増員
- 中国子会社の構造改革実施
- CLT加工用刃物が大阪・関西万博の大屋根リング建設にも貢献。ヨーロッパにおいても拡大中。

- 2023年：LC角のみ、2025年：ポリゴノビットが日本木工機械展技術優秀賞を受賞
  - レーザクラッド技術を応用したモノづくり革新
  - ベトナム製造子会社工場の3・4期工事完了および生産品目のラインナップ拡充
  - インドネシア子会社で新熱処理設備導入
  - 本社物流センター新設とWMS(※)の導入
  - AIを活用した自動検査による省人化に向けたデータ収集実施
  - 本社基幹システムサーバーの更新
- ※WMS…物流センターで行われる、入荷から出庫までの一連の業務を効率的に管理するための倉庫管理システム。

# 4 前中期経営計画の振り返り

## 主な成果 ②

### テーマ

#### 経営基盤強化



#### サステナビリティ戦略



#### 資本コストや株価を意識した経営の実現対応



### 主な実績

- 新市場開発室の新設
- 管理および営業部門に本部制導入
- 企業型確定拠出年金導入
- 複線型職能資格制度導入
- 3年連続ベースアップの実施
- 大卒初任給の引き上げ  
(2023年度 21万5千円→2026年度 26万円※学部卒)

- CDP(※)2024年気候変動スコアリング「B-」取得
  - GHGフリーエネルギー比率:2025年度実績40%まで引き上げ
  - 欧州向け一部製品にカーボンフットプリントの数値開示
  - 刃先カバーの小型化により、プラスチック使用量削減
  - ロー付方法の見直しにより、ロー材使用量の削減
- ※CDP・・・イギリスで設立された国際環境NGO。活動目的は「人々と地球にとって、健全で豊かな経済を保つ」ことであり、投資家や企業等に働きかけ、環境に与える影響に関する情報開示を促している。

- 連結配当性向30%から35%に変更
- 環境配慮型製品拡販(Nova E'z Disc、ステイブルソー、エコエンシン など)
- 社外女性役員登用
- 福岡営業所とスラバヤ拠点を売却
- 不採算製品のスクラップ

## ⑤ 2035年のありたい姿について

---

## ⑤ 2035年のありたい姿について

### 3つの視点から見る兼房のありたい姿

社会から  
見た兼房

刃物の先を見つめ、創り出している兼房

お客様  
から見た  
兼房

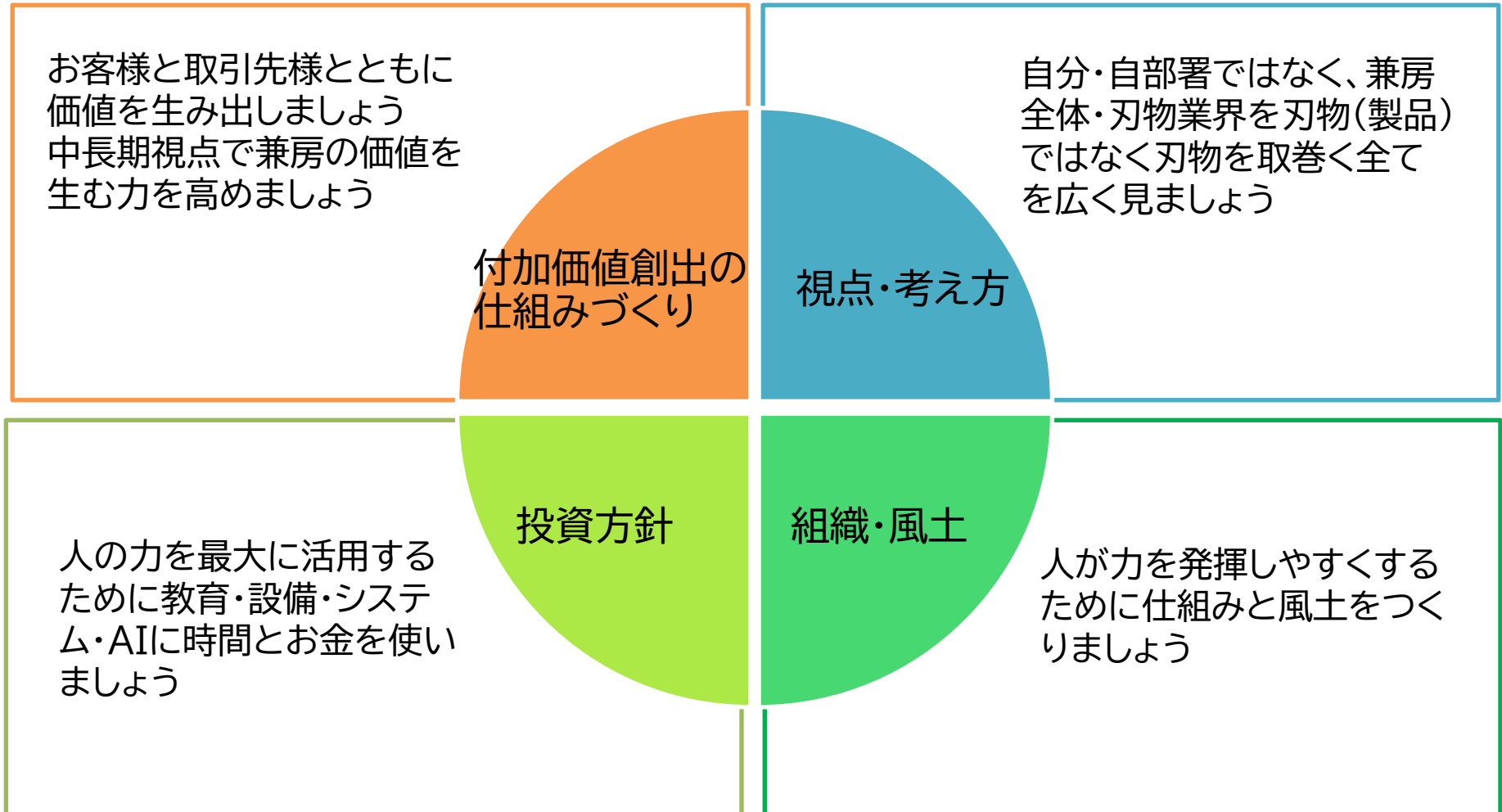
お客様の困りごとを解決し、信頼されている兼房

従業員と  
その家族  
から見た兼房

従業員のやりがいと幸せ、希望があふれている兼房

## ⑤ 2035年のありたい姿について

### ありたい姿のための4つの変革



## ⑤ 2035年のありたい姿について

### 合言葉

ともに、もっと刃物の先を見つめよう

## 「もっと」

「刃物の先」に込められた3つの意味



#### 1. 刃先

刃物の命そのもの。  
目の前の製品の品質  
と精度の追求。



#### 2. お客様

提供する刃物の向こうに存在する  
お客様。加工がより正確に、効率  
的になり、仕事が良くなること。



#### 3. 切削技術の未来

兼房のおかげで世界のものづ  
くりが前へ進み、世界中の人々  
の生活がより良くなる姿。

## ⑥ 中期経営計画(2026~28年度)

---

# 6 中期経営計画 – 基本方針

【企業理念】  
世界のものづくりに貢献

2035年 ありたい姿

2026~2028年度 中期経営計画

**ビジョン** 変化への対応スピードとやりきる力で持続的成長を実現

**スローガン** 成長 = スピード × やりきる力

【第一の柱】

市場価値を高める事業展開と選択集中

【第二の柱】

競争力を支えるものづくり革新とDX実装

【第三の柱】

人財力を引き出す成長支援型組織づくり

【土台】 利益創出を軸とした経営管理と基盤強化

- ・PDCA/OODAサイクルの短縮による経営スピードの向上
- ・役割と責任の明確化によるタスク成功率の向上
- ・受注変化に効率よく迅速に対応かつ余裕時に徹底的な教育が実施できる体制づくり
- ・市場変動や需給変化への代替策(Plan B)を常に準備

成長 ↑

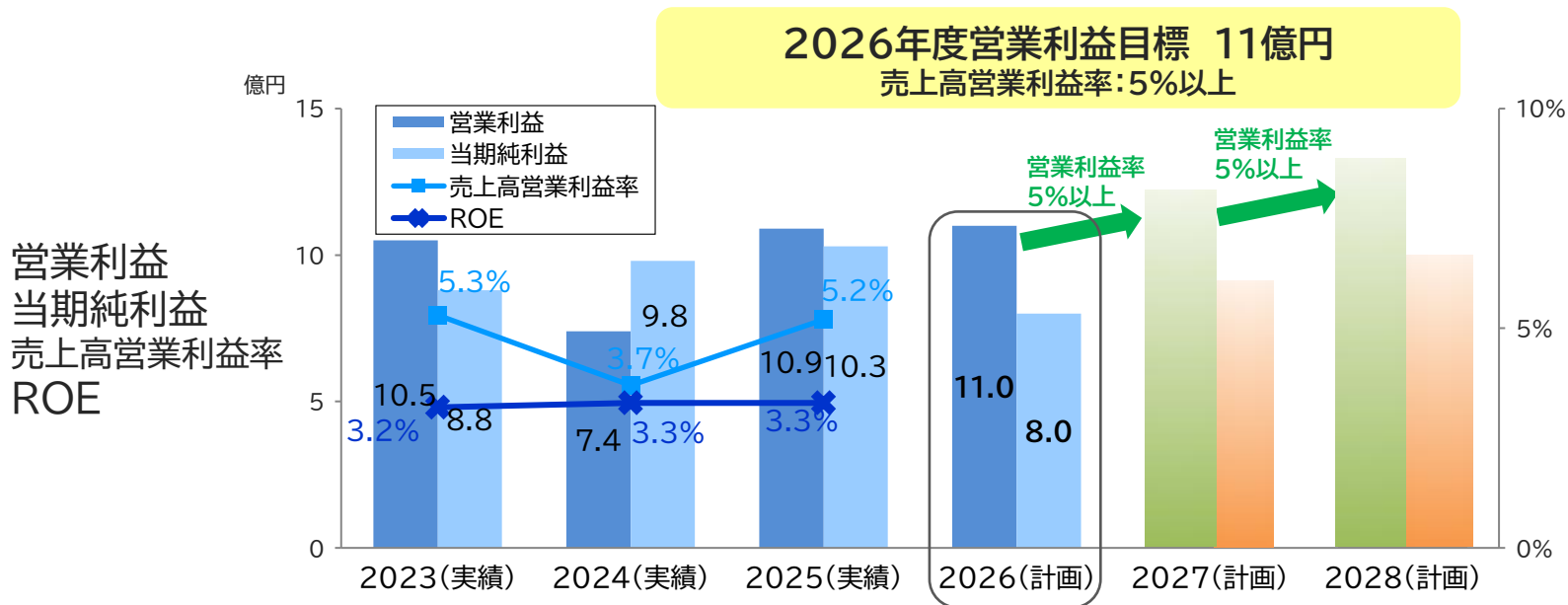
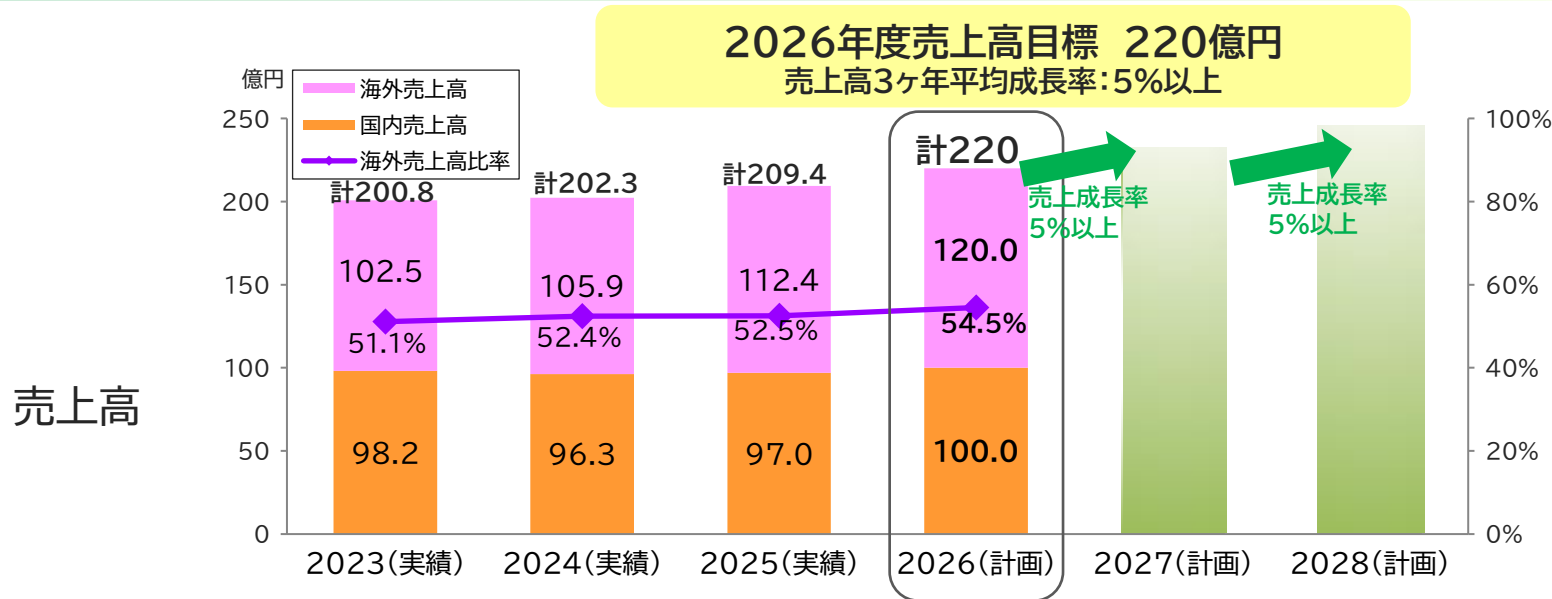
企業価値 ↑

現状

戦略の遂行

時間

# 6 中期経営計画 - 目標



## 6 中期経営計画－目標

### 収益成長戦略①

#### 【戦略製品】

##### ■ 金属用丸鋸

自動車産業を中心に世界各国へ高効率生産を実現する高付加価値製品の拡販。難削材の大型化に対応する大径丸鋸の生産対応、鋼管切断市場への拡販。

##### ■ 木工用丸鋸

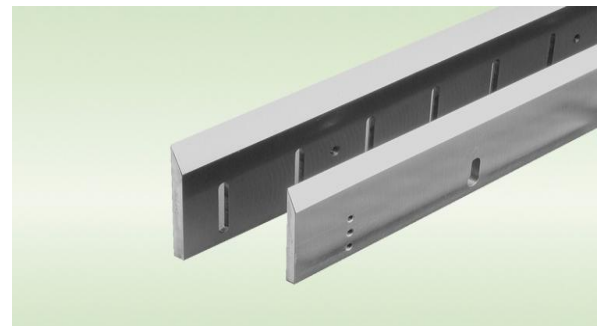
国内住宅市場縮小を補うべく、海外中心に薄鋸化などによる拡販。

##### ■ 製紙関連刃物

海外生産子会社を最大限活用した最適生産分業体制による安定供給および新規参入地域への大口販売ルート構築。

##### ■ 合板関連刃物

北中南米及びインドにおける市場開拓に対応するラインナップの拡充。



## 6 中期経営計画－目標

### 収益成長戦略②

#### 【重点市場】

##### ・北中南米

米国は引き続き世界の牽引役、メキシコは北米のニアショアリングとしての期待、ブラジルは資源大国としての強みなどを背景に、当社の販売拠点を最大限に活用し、住宅二次加工市場、製紙パルプ・バイオマス市場の開拓および、自動車関連市場、合板市場の拡大。

##### ・インド

世界一の人口を背景とした高い成長率を見込み、機械メーカーとの関係強化、新たなBtoB販路構築による拡大。



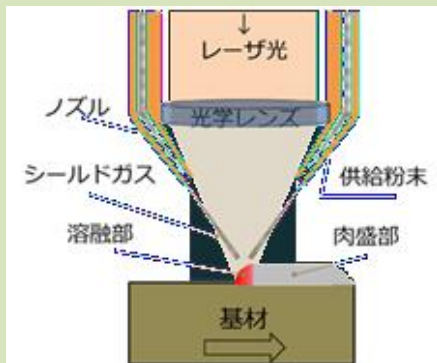
## 6 中期経営計画－目標

### 収益成長戦略③

#### 【重点技術】

- 希少素材の微小化
- コーティング
- レーザクラッド
- 接合
- 熱処理など

レーザクラッドとは、粉末金属素材を、レーザー光を熱源として溶融し肉盛りすることで、台金の上に刃金を一体化して形成し、耐摩耗性・耐食性・耐熱性などの特性を向上させる技術です。



レーザクラッド

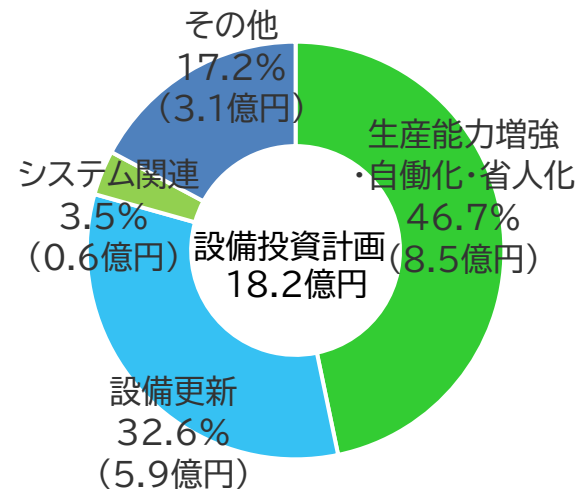
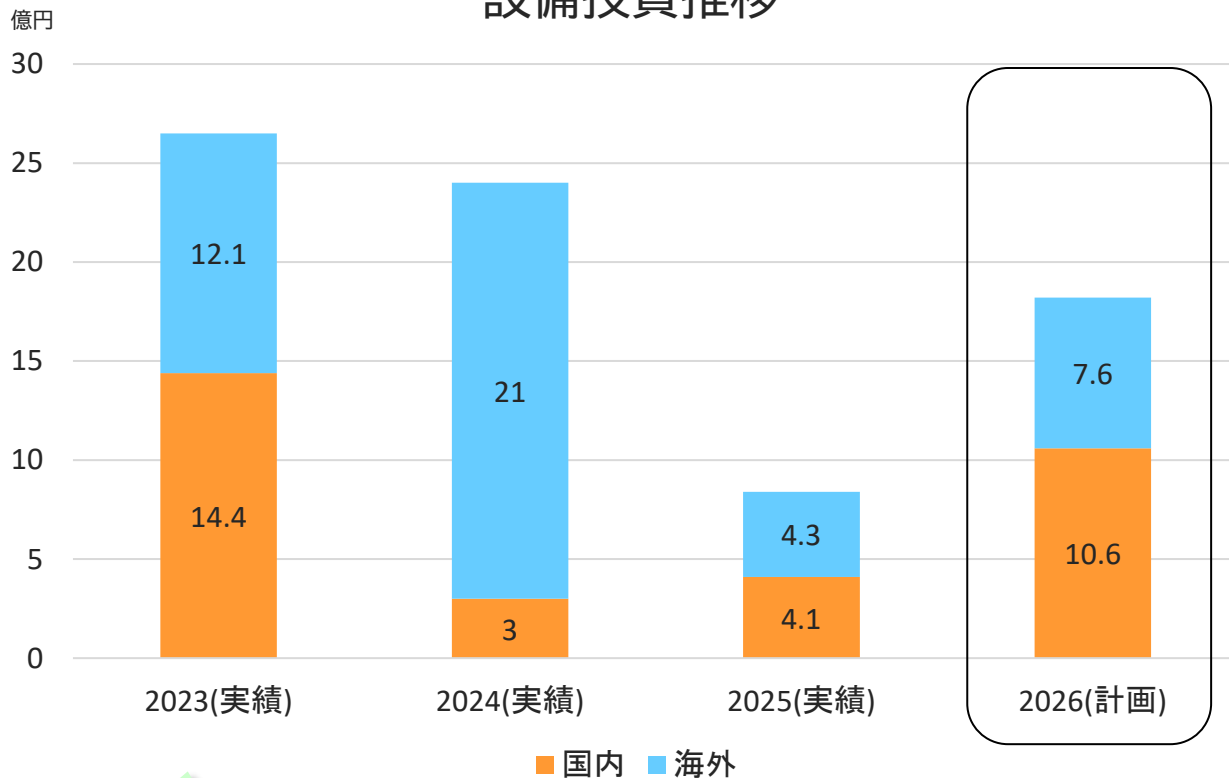
### 収益成長戦略④

#### 【重点投資】

- システム
  - 次期基幹システム構築、
  - サイバーセキュリティ強化
- モノづくり
  - 付加価値創出型の生産体制へ変革
  - (自動化・省人化・複合化)
- 人的資本
  - 心理的安全性の向上、成長支援型制度づくり
- 作業環境
  - 本社工場再構築
- カーボンニュートラル
- 変化対応力
  - 変化対応部門(プール)の設置
- 調達能力
  - 調達先の多様化、重要材料安定確保

# 6 中期経営計画－設備投資計画

## 設備投資推移



2026年度設備投資計画内訳

### 前中期経営計画 主な設備投資実績



- ・ベトナム工場増産体制強化
- ・本社物流センター建設

### 2026年度設備投資計画

国内	投資額
自動化・省人化	約3億5千万円
設備更新	約4億円
AI関連	約4千万円

海外	投資額
ブラジル再研磨拠点再編	約1億5千万円
ベトナム生産能力増強	約2億円

## 6 中期経営計画－資本コストや株価を意識した経営実現に向けた対応

### 経営管理の基本ポリシー

- 利益管理の強化(売上→利益追求型への転換)
- 短期だけでなく中長期的利益を重視
- 研究開発費は新市場創出を意識しつつ、創造性も重視

### 安定的な財務運営

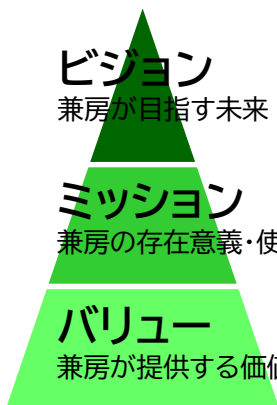
- 中期重点テーマとサステナビリティ戦略への取り組みにより、持続的なキャッシュ創出力の向上と資本コストを上回る収益性の確保
- 創出されたキャッシュについては、成長分野への再投資を通じた競争力強化を優先しつつ、財務健全性と株主価値の向上に資する形で活用
- これらの取り組みを着実に実行することで、事業成長と資本効率の両立を図り、中長期的な企業価値の持続的な向上

### ガバナンス・ESG対応の強化とIR活動の充実

- 役員構成のさらなる多様化と次世代リーダー育成強化
- GHGの排出量を2030年度に2021年度比35%削減目標への取り組み強化
- サステナビリティへの取り組みとともに人的資本投資に関する開示を充実
- グローバルカンパニーとして有価証券報告書の英文開示への検討

# 6 中期経営計画ーサステナビリティ(パーパス、SDGsドミノ)

**Sharpen the future,  
Share the value**  
未来を研ぎ澄まし、喜びの輪を広げる



- 兼房に関わる全ての人へ新しい価値をもたらし、世界の人々を笑顔にする
- 兼房の刃物で世界のモノづくりにイノベーションを起こし、世界中の人々の未来を輝かせる。そして、そこから生まれる価値を世界中に共有する
- 「切る」「削る」を極め、環境に優しいモノづくりの技術・ノウハウを提供する。  
・従業員、お客様、さらにその先のお客様に驚きと喜びと安心を提供する。

兼房SDGsドミノ ～兼房の強みから正の連鎖反応を起こし、社会と企業の持続可能性の両立を目指す～



# 6 中期経営計画－サステナビリティ(優先的に取り組む課題)

9 産業と技術革新の基盤をつくろう  
 わが社にしかできない切削技術で新しい価値を創造し、世界のものづくりに貢献する

12 つくる責任 つかう責任  
 資源の有効活用、廃棄物削減・再利用

13 気候変動に具体的な対策を  
 地球環境に配慮した刃物の開発、切削方法の提案

8 働きがいも 経済成長も  
 生産性向上、ワーク・ライフ・バランス

17 パートナシップで目標を達成しよう  
 パートナーと協力し、SDGsへの取り組み促進

## 目指すべき成果

- ・「六方よし」の刃物・切削の提供 (買い手・売り手・作り手・地球環境・社会・未来)
- ・新分野への取り組みの促進
- ・最適提案までの期間短縮

- ・サプライチェーン全体での省資源化

- ・サプライチェーン全体におけるカーボンニュートラルへの貢献
- ・エコ資材使用率の最大化

- ・限りある人財で最大利益を生む
- ・多様な働き方への柔軟な対応

- ・パートナーとの連携により、当社のSDGsの取り組みを促進する。

## 主なアクションプラン、目標

- ・EV用電池やリサイクル素材、バイオマス市場への取り組み
- ・半導体産業向け特殊素材加工用工具の開発

- ・廃棄物や端材からリサイクル・アップサイクル製品を開発
- ・超硬接合新技術確立と刃金寸法統一による超硬材料量の最適化

- ・開発テーマ全件でGHG・レアメタル使用量の削減効果を創出
- ・フライスカッターの用途開発、接着刃先製品開発

- ・生成AI活用による生産性向上
- ・エンゲージメント向上
- ・子育て世代の多様な働き方の拡充

- ・各種企業団体参加企業や大学との情報交換活発化
- ・各国ビジネスパートナーとの協業によるCN貢献刃物の拡販

- ・外国人やキャリア採用の積極化、子会社ローカル社員教育強化

## ⑦ トピックス

---

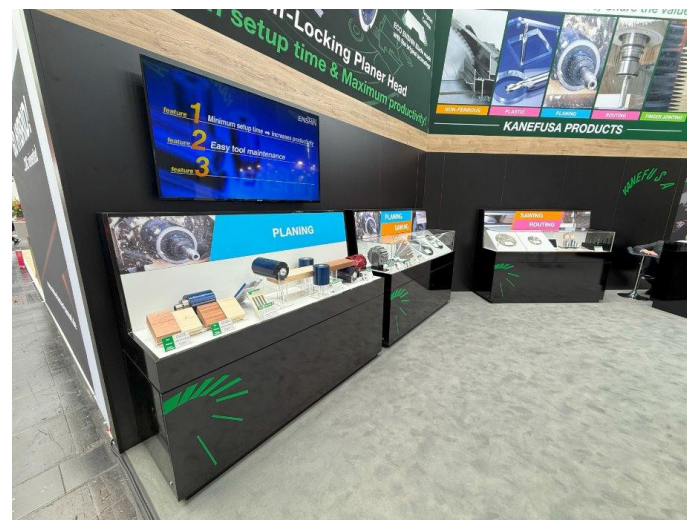
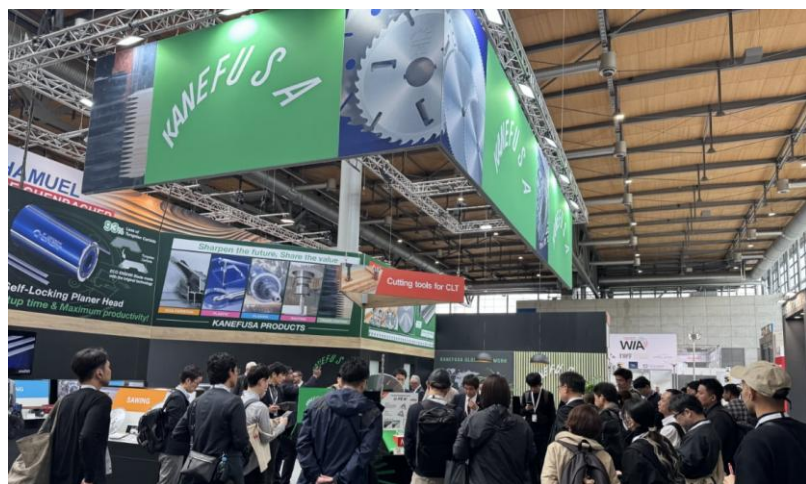
## 7 トピックスー海外展示会への出展

### LIGNA2025に出展

場所: ハノーバー国際見本市会場

日時: 2025年5月26日～30日

50周年を迎えた今回のLIGNAには、1,433社が出展、来場者数は156か国約78,000人と盛況でした。当社は、CLT加工用刃物を中心に木工製品群を展示し、世界の木工業界に貢献できる技術力をアピールしました。



## 7 トピックスー国内展示会への出展

### 日本木工機械展2025に出展

場所:ポートメッセなごや  
日時:2025年10月3日~4日

ポリゴノビットWBが技術優秀賞を受賞しました  
用途:合板や木質ボードの溝・くり抜き加工



### メカトロテックジャパン2025に出展

場所:ポートメッセなごや  
日時:2025年10月22日~25日

ファナック(株)様とのコラボレーションが実現、ファナック製新型ロボドリルに当社製品の「Nova E'z Disc」と新製品の小径多刃「Nova E'z Disc-mini」を取りつけ、加工実演を行いました。





KANEFUSA CORPORATION

ご清聴ありがとうございました。

当資料には、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しており、不確定要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの記述と異なる結果となる可能性があります。